

2017/2/28

## (日々雑感 38)



ここ数日、頻繁に元住んでいた街のターミナル駅近辺に行きます。田舎と都会の往復ばかりしている状態です。何故かというところ確定申告時期が近づいているからです。

ある事情から旧住所への郵送物を新住所へ転送するサービスが使えないために必要書類が手に入らず、やむなく再発行と送付先の変更の話を、銀行、区役所、法務局、年金事務所、保険会社、証券会社、クレジット会社、等などかなりの回数、電話でやり取りしているのですが、それでもどうしても直接出向かないと事が進まない案件が多々あるからなのです。

それで、街を歩いていてあることを感じたのですが、自分あるいは自分とその仲間以外、つまり他人とその他人の仲間に対して、まるで気遣いや思いやりがないのを感じました。仲間内に対しては、ものすごく気遣いをする反面、それ以外には恐ろしく無関心で冷淡なのです。なのに、肩が触れあったからと言って喧嘩になったりするわけではないのです。

一体どういうからくりになっているのか？

そう言えば仲間内では、バースデイパーティーをはじめとする諸々のイベントでのプレゼントの交換が盛んに行われているようですし、子供達はお誕生会、ママ友世代はランチや飲み会で大忙し。ネットもLINEやFBなどが大盛況。

しかし、仲間内以外に対しては、そのテンションが極端に下がっているのを感じました。なんと言えよ良いのか、ごくごく限られた自分の仲間以外は、全国、全国民全てを村八分にしているような。それがどのグループからも発せられているような。何かいじめの元でこんなところにあるのではないのか？と思ったりもします。

思い返してみると、この傾向はバブルが弾けて以降、昭和から平成になって以降のデフレ時代になってから急速にそうなったような気がしました。

今は、幾分ナショナリズムの傾向になりつつありますが、それでも表向きはグローバル、グローバルといい、はたまた多様化ともいっているのに、実態はそれとは正反対の孤立し

た村社会みたいな状態になっているのを感じるのです。

マーケティング的な言い方をすれば、セグメントが細かく別れ、明確化する反面、その細かいセグメント、あるいはクラスターがその他を排斥しはじめているといますか。

あるいはデフレ時代になって急速に普及したインターネットが本来個々の繋がりを深めるはずなのに何故か逆作用して、更に孤立を招いているのを感じるのです。

震災直後、一時、絆、絆と言っていました。それはあくまで仲間内の話であって、それ以外は震災が風化すると共に、やはり同じく逆回転して、その他のグループに対しては際だって冷酷冷淡、不寛容になっているのを、近頃痛切に感じるどころなのです。

自分と自分の仲間の共有する価値観は認め、称賛するが、それ以外の価値観は極端に排斥するか、あるいは「否定する」までは行かないけれど、完全に「ないがしろに」するか「しかと」を決めこむ。なんかそんな感じがしております。感覚的に。

世の中には共通部分と差の部分があります。共通部分の上に差の部分があるはず。なぜなら、共通部分のない差だけの世界では、お互いの差だけが際立って連絡が取れなくなるからです。孤絶するのです。

最近、マーケティング的な言い方を敢えてすると「差別化を迫る」あまり、大前提の共通部分が抜けて、お互いの連絡が取れない状態になってしまったのではないでしょう

か？言い換えれば、会社は差別化を偏重、過大評価しすぎ、教育界は個性の奉りすぎで、完全にミスリードしていると思えない気がしてならないのですが、どう思われます？

「差」や「個」と言い始めた途端「弧」が始まります。競争が始まるのです。マーケティングではコンペチター、他社戦略。教育では学校なら成績評価、会社なら査定評価。

確かに、ぼくもいい歳しこいたじいさんですから、人が大勢いる限り競争はなくなりこないのは重々分かっているのですが、もう少しなんとかならないものだろうか。もう少しお互い、コラボできないものだろうか？もう少し価値観を異にする人たちに対して寛容になれないものだろうか？と思う昨今です。